

# 令和元年度第 1 回 成田市まち・ひと・しごと創生推進会議会議録

## 1 開催日時

令和元年 7 月 24 日（水） 午前 10 時～午前 11 時 45 分

## 2 開催場所

成田市花崎町 760 番地  
成田市役所議会棟 3 階 執行部控室

## 3 出席者

（委員）

関根座長、宇野澤副座長、小川委員、吉岡代理、横尾委員、濱野委員、西留委員、  
長岡委員、宮崎委員、吉高委員、遠山委員

（事務局）

企画政策部 郡司部長  
企画政策課 米本課長、宮田課長補佐、平野主幹、青菜副主査、中村主任主事

## 4 議事（要旨）

○数値目標及び KPI の進捗状況について

「成田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で設定している数値目標や重要業績評価  
指標（KPI）等の各種指標の進捗状況及び増減理由等について説明を行った。

○今後の地方創生の取り組みについて（意見交換）

「NARITA みらいプラン」第 2 期基本計画の策定にあたって実施したワークショップ  
や市民アンケートの結果について情報提供を行い、それらを踏まえて、本市の地方創  
生の推進に関する意見交換を行った。

## 5 質疑等

（1）数値目標及び KPI の進捗状況について

□指標 28、29 における「保育園等」と「児童ホーム」の違いは。

⇒保育施設は未就学児を預かるのに対し、児童ホームは小学生が放課後に利用する施設で  
ある。

□待機児童等が増加した理由として、働く母親が増えたことによる需要増との説明があっ  
たが、それ以外に原因はあるのか。また、施設は整備しているのか。

⇒児童ホームに関しては、女性の社会進出が進んだことで子どもを保育園に預けて働くお

母さんが増え、子どもが小学生に上がってもそのまま働き続ける親が増えているため、待機児童が増加しており、施設を増やしているが追い付いていない状況である。

保育園については、来年新たに3園が開園するため、ある程度は解消されると思うが、幼児保育の無償化に伴い、更に利用希望者が増えることも考えられる。

□アンケート結果は感覚的な部分があるので分析が難しいと思うが、雇用の場が「確保されている」と思う市民割合が低い理由について、推測も含めて、この傾向についてどのように受け止めているのか伺いたい。

⇒委員がご指摘のとおり、分析は非常に困難で、空港やホテル業界からも人手不足という声を聞いているため、それが調査結果とマッチングしていないと感じている。成田市には空港もあることから、他の地域と比べて雇用の場は確保されていると考えており、実際に他の地域のアンケート結果を見ると、本市よりも低い傾向にある。

□アンケート結果のような感覚的なものを指標とするのは難しい。次期計画の策定にあたっては、その辺りも考慮されると良いのでは。

□平成30年度実績において、指標26「不妊治療に対する助成を通じた出産件数」が減少しているが、助成を受けている人自体は減っているのか。

⇒申請のタイミングにより、この年度はたまたま減ったと考えている。助成を受けている人は増えており、更に今年度から、県の制度と併せて年度ごとの回数制限を撤廃するなど、使いやすい形に制度を改正したことから、今後も増加していくと考えている。

## (2) 今後の地方創生の取り組みについて（意見交換）

□空港の機能強化により従業員が3万人増加し、7万人となる見通しだが、それをどのように雇用していくかが重要である。子どもを成田市に定住させて空港で働きたいと思えるような取り組みを行っていただきたい。

また、ワークショップの意見にもあったが、母親が働いている間、子どもを見てもらえる人がなかなかいないので、高齢者が子どもの居場所になるような取組みの必要性を強く感じている。できれば食事までやってもらえると、女性が安心して長時間働けると思う。これから空港が大きくなり従業員の増加が見込まれるが、その中に女性も多く含まれることから、安心して働けるように高齢者の力をお借りしたい。

□例えば小田原市では、小田原駅の隣の鴨宮駅から歩いて行けるとところに大きなショッピングモールがあり、そこで買い物や映画鑑賞、食事などができるので、土日には多くの市民が集まっている。成田市は郊外型の大きな店がぼつぼつとあって、車があれば利用できるが、駅前が寂しいので、集客力のある店舗があると良いと思う。

⇒現在、駐輪場などがある JR 成田駅西口側の市有地 6,000 平米ほどの高度利用を考えており、調査等を行っているところである。また、京成側の駅前広場についても同様に検討しているところで、これから良いものが出来ると考えている。

□成田空港と成田市の中心地が離れているため、空港が浮いていて市民や地域とのパイプが繋がっていない感じがする。空港の歴史によるものかもしれないが、これからは空港と市民の距離感を縮めていかなければと感じている。京成の東成田線の活用や、JR 成田駅西口と成田湯川駅をもっと機能的に結べないのかなど、空港と市中心部の距離感を縮めていくのが大事である。

また、空港の機能強化による従業員増の話があったが、その前の工事の段階で、成田市には人が入ってくると思われる。そういった中で建設・不動産関係者が一様に言っているのが、賃貸の物件が非常に不足しているということで、空港の工事関係者の中にも恐らく滞在する人が出てくるので、急いでそれらを確保する必要がある、との話も出ている。空港の完成前からそういった現象が起きる可能性があるので、今後力を入れていくと良いのではないか。

3 点目に、成田市は空港を擁しており、北総・東総地区における中核となっている。今後も仕事の場が増えて、市外からたくさんの方が通ってくると思われるので、小さな市町では十分に確保できない雇用や高齢者の活躍の場の受け皿として、成田市単独ではなく、広域的な視点で取組んでいくのが良いと思われる。

□賃貸物件に関して、自社と取引のあるハウスメーカーの入居率をみると、98～99%のかなり高い入居率で推移している。更に増やすとなると農振の問題があるが、ニーズがあるので建てれば一括借りで埋まってしまうとも言われており、そういった余地はある。また、ワークショップの実施報告書 P25 において「成田空港を利用した人たち⇒成田山へ!! (…) 成田は通過点ではない! 主役だ!!」との意見があるが、これから来年のオリンピックに向けてインバウンド観光客が増加し、それに伴うキャッシュレス化の流れは止まらないと思われるので、後押ししてもらえるとありがたい。

□市民のニーズを満たして満足度を上げるためには、まず財源の担保が必要であり、その根本は、企業の進出や雇用の増加、消費の拡大などによる税収の拡大がバックにないと思えないと思われる。そのため、企業立地など、継続的な財源担保という視点が非常に重要である。

商工会議所のお客様でも人手不足だという話が事あるごとに上がっており、外国人の活用について真剣に調査研究を行っているところもある。事業承継も大事だが、雇用確保が非常に大事な課題であり、外国人も含めた、例えば雇用サポートセンターのような、相談可能なコーディネーターとなってくれる窓口があるとよい。

□保育園、あるいは小規模保育事業について、今年度か来年度にできる可能性はあるのか。  
⇒来年度に三里塚、美郷台、久住中央の3か所に保育園ができる予定で、これにより定員が195名増加する。（美郷台75名、久住60名、三里塚60名）

□参道のセットバック事業は完了したのか。  
⇒対象となっている108件の内、地権者の事情により11件だけ出来なかった。今年度で一旦区切りをつける予定で、約90%の達成率となっている。

□先日、成田祇園祭を初めて観て、大変感激した。参道も歴史的な観光資源であり、お祭りも勇壮であった。成田市で全国的に有名なのは空港と新勝寺の初詣、豆まきだが、祇園祭のような文化をもっと発信するため、広報活動を関東一円、日本全国にもしていただくと良いと思う。また、成田空港の国内線がLCC含め22都市と繋がっていることから、観光資源をアピールすれば全国からお客さんが来て、成田はもっと盛り上がるのではないか。

□2年位前にインバウンドが伸びてきたとき、観光業界では「旅マエ、旅ナカ、旅アト」の3回のビジネスチャンスがあるとされていた。多種多様な企業の参入もあったが、2年経った今、旅ナカと言われているビジネスは全て失敗している。旅行の行動パターンを考えると、出発する前に企画・準備する段階があって、来てからはグーグルマップを見て向かうだけなので、旅行にやってきたインバウンド客に対して、国内に来てからPRするのでは遅いと思われる。効率的にということであればエリアを選んでもいいと思うが、通過点ではなく目的地として感じていただけるように、前広に情報発信していく方が、結果として成田市の魅力づけには繋がるように思う。

□空港の従業員が7万人と聞いて、我々の業界は人手を確保できるのかと、危機感を覚えている。前回の会議でも述べたが、保育園が3園増加するのは非常に喜ばしいが、それによって今まで仕事をあきらめていたお母さんの労働意欲が喚起され、小学校に上がった後も働き続けたいと考えても、今度は児童ホームが足りなくなる。子育ては女性だけの問題ではないが、労働力の確保や女性の進出促進という観点からも、保育園だけでなく児童ホームも増やしていただきたい。

□児童ホームを増やすには、施設等のハード面だけでなく、指導員の確保も問題になる。指導員の年齢幅を上げたり、保育を専門に学んでいる学生の門戸を広げるなどしないと、器が出来てもマンパワーが足りなくなってしまう。児童ホームを支える人材の確保も考えなくてはいけない。

□成田市は今後も人口が増えていく全国でも数少ない市町村ということで、ポテンシャルが高いと考えている。しかし、社会増が期待される一方で、自然増に繋がる合計特殊出生率は減っている状況である。皆さんから意見のあったとおり、子育て施策や働く場の確保が必要になってくるのではないかと考えている。

なお、先程 PDCA を回していくとの話があったが、例えば保育所の待機児童数をみると、指標の数字では増えているが、お話を伺うと、実際には施設を増やしたりしているとのことだった。この数値だけでは、努力したけど別の要因で数値が下がってしまったとか、そういうことが見えないので、新たな総合計画や総合戦略を作る際には、各施策についてよく検証していただいて、進化したものを作っていただきたい。

□子どもは熱を出すし児童ホームも少ないので、保育園を作っただけでは女性は就労できない。児童ホームの指導員の確保が必要とのことだったが、高齢者の力を借りて空き家を活用するなどして、子どもたちが集まれる場所を作れば、高学年については学童の必要性が減ると考えている。法律上の問題があると思うので、特区などを活用し、高齢者の力を借りて子どもたちをサポートしてもらおう形が望まれる。

□指標として待機児童ゼロを目指すのは、いかななものか。待機児童が減少すれば新たな需要が喚起されるため、結局ゼロにはならないと思われる。別の指標を目指した方が現実的に達成されるのでは。

□児童ホームという形だけではなく、子どもの居場所づくりという観点で力を入れていく必要がある。成田市では全小学校に児童ホームを設置しているが、もともと学校の敷地はそのような想定がされておらず、増設する場所が物理的にない状況にある。空き教室を利用するのも手だが、学校を出て居場所づくりをするようなことを考えないと、今後は厳しいと思われる。

□これは地域特性と言ってよいと思うが、空港で働いている人が数万人規模でいることを考えると、早朝から深夜まで、週末も盆暮れ正月も関係なく働いている人が大勢いて、そこに労働力やワーキングマザーの活躍の場を求めるのであれば、児童ホームや保育園においても柔軟性のある時間帯、一般的な月～金・9時～17時ではない想定に対応が求められるのではないかと。

□遠山委員と横尾委員に伺いたいが、市民意識調査はどここの市町村でもやっているのか。例えば成田の住みごちについては8割近い人が満足しており、7割以上の人がこれからも住み続けたいと回答しているが、他市町村の回答を持ち合わせていないので、高いのかどうか分からない状態である。

⇒回答者の年齢分布を見ると、4割近くの人が60代以上となっている。長らく成田市に住んでいて、また居住地を見ても圧倒的に成田地区が多く、代々住んでいた60～70代が中心となっていることから、そういうことを前提に考えるのが良いと思う。若い人だけにアンケートをとるなど、手法もいろいろあるので、工夫すると良いのでは。

⇒資料がないため分からないが、比較的高い方ではないかと思う。ただし、年度ごとのばらつきが出る場合があるので、先程の雇用の場の確保の話でもあったが、参考にするのは良いが、それがどうかというのは細かく分析しないと言えないのでは。

□成田空港は国際線はもとより、国内線も就航路線数でいうと国内5位か6位であり、特にLCCができてから増えている。市民意識調査報告書P42の「成田空港が立地することのメリット」の回答に関して、例えば都内から広島に行くのに新幹線を使うと、成田から出るLCCを使うより2倍以上の料金がかかる。九州、四国、北海道なども同様だと思われ、これはすごいメリットだと思うが、回答としては意外と出てこないのだと感じた。

□60代～70代の方は、LCCはなかなか使えないと思われる。人手不足の現状がある一方で、雇用の場が確保されていないとのアンケート結果が出ていることから、調査に回答した年齢層と必要とする年齢層がマッチしていないのかもしれない。

□高齢者の方がLCCを使うのは、慣れないため難しい。一回でも使うと安い分、旅行先でお金が使えたと分かってもらえると思うが。

□インバウンドの訪日外国人ばかりが目立つが、それ以外も、路線の数を考えると非常に伸びる余地がある。実際、農閑期に北海道や沖縄から、成田地区のホテルを拠点にしてディズニーランドに行くツアーなどもある。

□成田に来たなら空港周辺の市町もぜひ観光してほしいので、里山観光や、サイクリングなどの取り組みを行ってみては。

□大学附属病院の開院にあたって医療者が不足しているので、そういった人を呼び込むのに、LCCで九州から1時間半、2時間で来られますよ、というのはとても良い謳い文句となる。成田市周辺のクリニックなどで勤務している方は九州出身の方も多く、その理由を訊くと、空港があって近いから、とのことだった。分かっている人は分かっているので、広報の仕方ではないかと思う。